

「戦闘」指揮訓練センター 8月開所 戦争指揮を訓練する施設に反対！

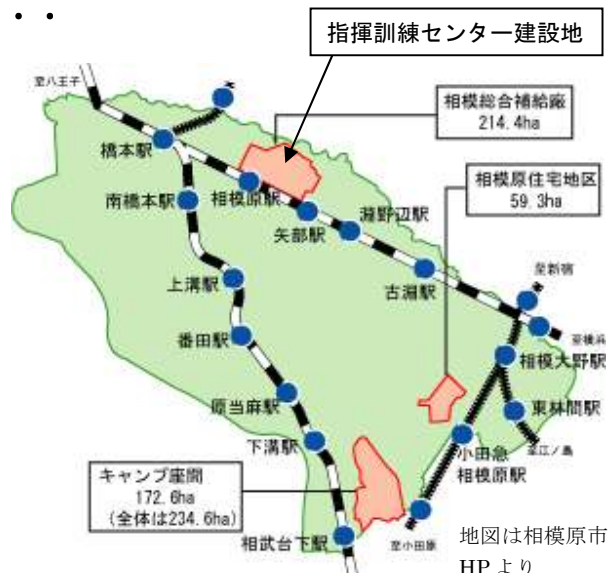
名称をかえても、その本質が変わったわけではない・・・

米軍再編計画に当初から相模総合補給廠内に計画され、私たちはその建設に反対してきた戦闘指揮訓練センターの建設が完了し、8月4日には開所式を行うと報道されています。米軍は、この施設の開所直前になって、施設の名称を変更しました。元は戦闘指揮訓練センター（Battle Command Training Center (BCTC)）とされていた施設の名称を任務指揮訓練センター(Mission Command Training Center (MCTC))として発足させようとしています。

東日本大震災で支援活動を展開したことを引き合いにして、「戦闘」だけでなく、「人道支援」や「災害救援」が米軍の活動なのだから、「戦闘」でなくて「任務」としたということです。「戦闘指揮訓練」などと、戦争＝人殺しを連想させる露骨な表現をするよりも、「任務指揮訓練」とした方が、施設の性質を隠すことができるし、市民に受け入れられやすい、と考えたに違いありません。米国内外にある27の同様の訓練センターすべてを改称したといえます。

しかし、施設の本質・米軍の本質は、旧の名称がしっかり表明しています。私たちはそこを見ないわけにはいきません。米軍は、ベトナムで何をしてきたのか？イラクで何をしてきたのか？アフガニスタンで何をしてきたのか？

私たちは、アメリカの行う侵略戦争の指揮訓練が、この街で行われることに反対して、この施設建設を拒否してきました。基地機能の明らかな増強であり、基地の恒久化につながるものでもあります。反対の意思をあらためて表明します。基地の整理・縮小・返還・撤去に向けて歩いていきましょう！（2011.07.24）



ハワイ・スコフィールドバラックス・戦闘指揮訓練センターでのバーチャル・トレーニング。
バグダット市街地でのハンビーの運転(左) とハンビーの上でのマシンガン操作
(StarBulletin 2006.2.19 , Virtual combat より)

RIMPEACEのHPより